

活動報告書（2016 . 2 ～ 2016. 3 ）

2016年2月11日、皆様のご協力のお蔭で、学校給食支援活動を無事に開始致しました。NPO法人聖母の活動開始から1か月の活動報告として、問題点を含む給食支援活動の現状をご報告致します。



経過と現状

- 2月11日- ブランタイヤのチロモニ村にある保育園10カ所への給食支援活動を開始した。
- 3月15日-給食支援対象保育園6カ所への追加給食支援活動を開始した。
- 現地保育園担当スタッフによる家庭訪問を実施し、栄養不良の子どもを特定する事ができた。
- 1日あたり合計633人への給食支援活動を開始した。

概要

マラウイは、2015年1月の歴史上最悪の洪水に続いて、長期にわたる日照りに見舞われた。マラウイが主食であるとうもろこしの不足を経験するのは過去10年で初めてであり、現在、約280万人（150万人の子供たちを含む）がその影響を受けている。更に、国連食糧計画の予算は、すでにマラウイへの援助として必要とされる予算を下回っていて、追加の民間支援等が必要という緊急発表を行った。NPO法人聖母として、食糧危機という課題に取り組みながら、貧困撲滅を目指し、2016年2月11日より給食支援活動を行っている。

学校給食

学校給食によって、学力の向上、栄養と健康、男女平等、食料安全保障、貧困削減という様々な問題解決に繋がると信じ、日本で集めた支援金を、マラウイでの学校給食支援活動費に充てる。NPO法人せいぼにより提供される学校給食は、パーラまたはリクニパーラとして地元で知られている穀物の粉のお粥で、トウモロコシ粉65%、大豆粉25%、砂糖10%を原料とし、ビタミンAと鉄分も補う事ができる。子ども1人あたりパーラ100gという量が、せいぼマラウイの1日の給食提供量の基準となる。Health Surveillance Assistants (HSA) により提供される小児保健に関連するデータは、貧困の子どもに関する報告に用いられる。保育園の拠点場所を決める際には、このHSAによるデータから場所を特定し、連携保育園と相談し

て将来的な保育園の拠点場所決定を行う。



調理をする
ボランティア



パーラ

保育園グループ1 (2016.2.11)

2月11日に行われた給食支援の式典は、政府職員、地元有権者、地元メディアを含む招待客により、チロモニ村にて開催された。その式典では、保育園のオーナーによる給食提供の実演が行われた。その後、各保育園で給食用調理窯と食器(カップやお皿)を備えた。保育園グループ1としての給食は、下記10カ所の保育園の合計371人の子どもたちに提供が開始された。

1. スレマ (Sulema)
2. テイクワ (Tikwere)
3. バチ (Bachi)
4. エベニーザ (Ebenezer)
5. ビージービーズ (Bizzy Bees)

6. テイヤミケ (Tiyamike CBCC)
7. ムワアイ (Mwayi CBCC)
8. テレザ (St Theresa)
9. アシラ (Asira)
10. ワティーパ (Watip)

問題点

給食支援を行っている1つの保育園でのパーラの保管する環境が悪くて、パーラに虫が発生してしまい、結果として35キロのパーラを駄目にしてしまった。現在、各保育園に届けているパーラは、ビニールで編まれた20キロの袋であるが、そのような問題を防ぐ為により小さい袋で保管が出来るように、10キロ用の袋の中に2.5キロパックを4つ入れた状態で保育園に届けられるように、現在、食品会社担当者と交渉中である。



喜び



健康



学び

保育園グループ 2

3月15日に、さらに給食支援を下記6カ所の保育園に保育園グループ2として拡大し、合計633人の子どもたちに給食支援活動を開始した。

1. フォーチューン (Fortune)
2. ビージービーズ (Busy Bees)
3. モギナ (Mogina)
4. チロモニ (Chilomoni)
5. クリバー (Kriver)
6. オールセンツ (All Saints)



調理釜の土台

調理釜の土台を、調理釜の周りに設置する事によって、調理釜がしっかりと土台に固定され、園児が釜に近づいたとしてもパーラで火傷するような心配はなくなった。また、マラウイの大部分の家は煉瓦造りだが、煉瓦を焼くするには膨大な木が必要となる。しかし、調理釜の土台に使用しているエコ煉瓦は焼く必要がないので、チロモニ村の木を伐採しなくてもすむ。

補助金支援

せいぼマラウイが給食支援活動を始めると同時に、在籍園児以外に栄養不良の子どもを何名受け入れる事が可能であるのかを保育園に確認し、各保育園に栄養不良の子どもを無償で入園させてもらえる契約を各保育園と交わした。無償で保育園に通える子どもの基準としては、子どもの栄養不良や栄養失調、家族の健康状態、収入等が検討される。現時点では8名が決定している。8名の子どものうち2名はエベニーザ保育園に、その他の子どもは1人ずつクリバー、チロモニ、アシラ、スレマ、ティクワ、ワティーパ保育園で受け入れてもらう事になっている。さらに、無償で保育園に通える子どもの人数を確認し、各保育園に受け入れてもらえる子どもについて調整中である。



初めての学び



手洗い



We thank you all so very much for caring for the children of Malawi!